



Quarterly SFKK Newsletter

士会だより

2024年 年頭のご挨拶



公益社団法人埼玉県不動産鑑定士協会
会長 中野 拓

新年、明けましておめでとうございます。新年の冒頭にあたりまして、ご挨拶を申し上げます。

昨年は、過去3年間にわたり蔓延した新型コロナウイルス感染症が、ようやく終息に向かいつつあり、以前の日常生活と経済活動に回帰しえたことは、記憶に新しいことかと存じます。当士協会におきましても、昨年は公益社団法人化以来10周年の節目の年にあたり、会員各位のご協力を得て、各種事業を事業計画に従って、概ね滞りなく実施し得ましたことをこの場をお借りして感謝申し上げます。特に、その中でも、多数の市民の方々が当士協会に関心を持ち、講演会や相談会に多数ご参加いただいたことは印象に残りました。

さて、昨年11月下旬に、連合会の理事会の翌日に都道府県士会長会議が開催されました。この会議では例年、いくつかのテーマが提示され、いくつかのグループに分かれて、討論を行う形式で実施されており、昨年は、①事例閲覧、②改正個人情報保護法、③不動産鑑定評価におけるDX、の3つのテーマが取り上げられました。上記①及び②につきましては、当士協会の従前の対応では至らない点があることを確認いたしましたので、速やかに対応を検討して参りたい所存です。また、上記③については、まずは、連合会がデジタル化社会において、事務局の業務や会員へのサービス等における対応を策定するプロジェクトに取り組むことが掲げられましたが、併せて、個々の会員の業務における今後の活用についても模索されました。例えば、コロナ禍がもたらした副産物としてのリモート会議は定着した感があり、また、地価公示作業における成果品のペーパーレス化等、部分的にはデジタル化が進捗しておりますが、個人的にはChat-GPTを活用した不動産鑑定評価書等の作成に関心がそられました。

会員各位へのお願いですが、理事会の席上、研修委員会より、連合会が研修単位の15単位取得義務を会員に課している件につき、都道府県別の履修状況の報告がありましたが、当士協会はその達成割合が昨年度は47都道府県士協会中45位、本年度は11月前半段階で46位と惨澹たる状況にあります。そこで、当士協会会員各位におかれましては、不動産鑑定士五訓の一にありますよう、研鑽に励まれますよう、強くお願い申し上げます。

最後になりましたが、本年が会員の皆様方の一層のご健勝とご多幸に恵まれますことを、心より祈念申し上げます。





委員会Report

1. 一般公開セミナーの開催について (研究広報委員会)

公益社団法人埼玉県不動産鑑定士協会主催 埼玉県・さいたま市後援
一般公開セミナー 無料 定員250名 予約制
～経済社会と埼玉県の不動産価格～

【日時】2024年3月27日(水) 13:30～16:00 (開演開始 13:00)
【会場】埼玉県県民健康センター 2階大ホール (さいたま市浦和区仲町3丁目5番地1号 (東側道路側))
【定員】250名 ※事前申し込み・先着順 ※お申し込み方法は裏面に記載がございます。
【第1部】13:45～14:45
令和6年地価公示に見る埼玉県の不動産市況
講師 三田 和巳 氏
地価公示埼玉県代表幹事、公益社団法人埼玉県不動産鑑定士協会委員
【第2部】15:00～16:00
勝つためのチームマネジメント
講師 堀越 正己 氏
高校2年からラグビーを始め、3年生時には高校日本代表として、Nadeshikoに準じ、早稲田大学経済学部は日本一を優勝し、19歳で日本代表入り。社会人時代は神戸製鋼で1991年から1994年まで計4回日本一となる。現在は埼玉県防犯安全推進センターで防犯に専念。
2014年4月に女子7人制ラグビーに転じたNPO法人「ARUKAS KUMAGAYA」を設立。オリンピックの選手を目指す。「ARUKAS KUMAGAYA」を運営する会社「ARUKAS QUEEN」を同時に設立し、選手強化、育成及び地域にラグビーも広く普及する活動を行う。また、2015年11月に埼玉ラグビーフットボールリーグに加入し、2016年埼玉県防犯安全推進センターでラグビーを推進し、現在はラグビーフットボールの発展のために活動している。

【お問い合わせ】公益社団法人埼玉県不動産鑑定士協会事務局
TEL:048-789-6000 FAX:048-789-6160
お問い合わせは郵送でも可。Eメール、FAX、(お電話)も可。お問い合わせは必ずお名前を記載してください。

不動産鑑定評価制度の普及及び啓発を進め、公益法人として地域社

会への貢献を果たすために、不動産鑑定士等をはじめ広く一般県民を対象として、経済社会と埼玉県の不動産価格に関する一般公開セミナーを3月27日(水)に開催します。

- (1) 日時 令和6年3月27日(水) 午後1時30分～午後4時
- (2) 場所 埼玉県県民健康センター2階大ホール
- (3) 定員 250名事前申込制 (会員の申し込みは、別途REA-NETによりご案内します。一般の申し込みは、チラシ裏面の申込書に必要な事項を記入の上、事務局宛てFAX送付となります。)
- (4) 単位 2単位
- (5) 内容 第1部 令和6年地価公示に見る埼玉県の不動産市況
三田 和巳 氏 (地価公示埼玉県代表幹事/当協会会員・研究広報委員会委員)
第2部 勝つためのチームマネジメント
堀越 正己 氏 (立正大学ラグビー部監督)

2. 「解決!相続・空き家の無料大相談会」への参加・協力 (業務推進委員会)

皆様の相続や空き家のお悩みを各分野の7人がお伺いします！
解決! 相続・空き家の無料大相談会 ご予約不要 入場料:自由
1/27 (土) 10:00～16:00
ウェスタ川越 2階 市民活動・生涯学習施設 川越市新宿町 1-17-17

個別相談ブース ※ご予約不要
空き家や相続に関する専門家が、個別のお悩みや相談に対応します。実家を相続し、けがや事故による相続登記の義務化に悩まれている方も、ご相談ください！

ミニセミナー <各50分> ※ご予約不要
空き家問題や相続の時に困らないための準備に関する講演を行います。

主催 川越市・NPO法人空き家対策協議会
問い合わせ先 川越市 防犯・交通安全課 TEL:049-224-5721
NPO法人空き家対策協議会 TEL:049-293-4791 (行政士部事務所)

どこに相談していいかわからないお悩みでも結構です。お気軽にご相談ください。

続・空き家の無料相談会」(主催 川越市・特定非営利活動法人 空き家対策協議会)に当協会から相談員として2名参加します。空き家や相続に関する専門家が、個別のお悩みや相談に無料に対応します。詳細は川越市防犯・交通安全課(049-224-5721)又は特定非営利活動法人 空き家対策協議会(049-293-4791)までお問い合わせください。

- (1) 日時 令和6年1月27日(土) 午前10時～午後4時
- (2) 場所 ウェスタ川越2階市民活動・生涯学習施設
- (3) 参加 業務推進委員会 巢合 勇次 担当副会長
中山 健人 委員
- (4) 主催 川越市(所管課 防犯・交通安全課)
特定非営利活動法人 空き家対策協議会
- (5) HP [相続・空き家の無料相談会\(ご予約不要\)川越市\(city.kawagoe.saitama.jp\)](http://city.kawagoe.saitama.jp)

1月27日(土)に開催される「解決!相





3. 埼玉県との合同研修会の開催について（業務推進委員会）



2月19日(月)に埼玉県との合同研修会を埼玉県県民健康センターで開催します。当研修会は、県担当者と当協会会員が一堂に介し、講師を県と協会が相互に実施することで、相互が課題とする業務知識の向上とコミ

ュニケーションの円滑化を図り、相互理解を深めていくことを目的として開催します。

- | | |
|--------|--|
| (1) 日時 | 令和6年2月19日(月) 午後1時30分～午後4時45分 |
| (2) 場所 | 埼玉県県民健康センター2階大ホール |
| (3) 定員 | 県・協会合わせて200人程度 |
| (4) 単位 | 3単位（調整中） |
| (5) 内容 | 研修1 損失補償基準・用地事務実務の解説（仮題）
桑野 輝厚 氏（埼玉県用地課指導・管理担当主幹）
研修2 鑑定評価と土地評価について（仮題）
齋藤 雅一 氏（当協会会員・研究広報委員会委員）
名刺交換・意見交換 |
| (6) 申込 | 後日、REA-NETにより案内します。（参加費無料） |

4. 埼玉県・群馬県共催研修会開催結果について（研究広報委員会）

当協会では、群馬県と隔年ごとに持ち回りで主管して共催研修会を開催しています。今回は、当協会の主管により11月7日(火)にZoomウェビナーによるWeb研修会を開催しました。



- | | |
|--------|--|
| (1) 日時 | 令和5年11月7日(火) 午後2時～午後3時45分 |
| (2) 方法 | ZoomウェビナーWeb研修会 |
| (3) 単位 | 2単位 |
| (4) 内容 | 建築費の推移・動向・今後の動向予測
田代 聡夫 氏（株式会社リプラン資産活用部部門長） |
| (5) 人数 | 84人（埼玉県50人、群馬県34人） |
| (6) 共催 | 公益社団法人群馬県不動産鑑定士協会 |

5. 暮らしと事業のよろず相談会の開催結果について（業務推進委員会）



11月4日(土)に「暮らしと事業のよろず相談会」が浦和コルソホールで開催されました。当相談会は、当協会を始めとする専門士業11団体で構成する埼玉友好士業協議会（令和5年度当番会:日本弁理士会関東会）が年1回、予約不要、相談料無料で開催しています。今年度の相談会は過去

最高の来場者数を記録するなど、大変盛況のうちに終了しました。

- | | |
|--------|---|
| (1) 日時 | 令和5年11月4日(土) 午前10時30分～午後3時30分 |
| (2) 場所 | 浦和コルソ7階コルソホール |
| (3) 結果 | 来場者数 172人（相談件数269件）
うち当協会相談者 24人（相談件数18件） |
| (4) 参加 | 巢合勇次 副会長、黒住明央 委員長、立澤恵理 副委員長、
中山健人 委員（業務推進委員会） |
| (5) 主催 | 埼玉友好士業協議会 |
| (6) 後援 | 埼玉県・さいたま市 |
| (7) 構成 | 日本弁理士会関東会/埼玉弁護士会/埼玉司法書士会/埼玉土地家屋調査士会/関東信越税理士会埼玉県支部連合会/
埼玉県行政書士会/埼玉県社会保険労務士会/日本公認会計士協会埼玉会/公益社団法人埼玉県不動産鑑定士協会/
一般社団法人埼玉県中小企業診断協会/埼玉公証人会 |



理事会Report

10月理事会(定例)(令和5年度第8回)

【議事の経過の概要及び結果】

(1) 在会40年会員に係る記念品について

担当理事から、在会40年会員の表彰の取り扱いについては、表彰規程第2条第3号及び理事決議等に基づき、表彰状、花束、記念品(現金3万円)を贈呈しているが、会員の減少が見込まれることから当協会の今後の財政状況も考慮して、東京都の類似例(物品2,000円程度)を参考に「表彰規程の取扱について(平成21年4月16日理事会決定)」に「なお、同条の記念品は3,000円前後の物品とする。」を追加して、記念品を3,000円程度の物品にすることに見直したとの説明があり、特に異論もなく原案どおり承認された。

なお、花束については、記念品が減額されるので従前どおり表彰状に添えて贈呈することとなった。

(2) 在会40年対象会員について

担当理事から、在会40年表彰の対象候補者として、久下武男会員、貫井正之会員、加藤齊会員の3人が該当すると見込まれているので、3人の会員に対して事前に在会40年に該当するかどうか確認したいとの説明があり、特に問題となる点はなく承認された。

(3) さいたま市土地利用審査会委員の推薦について



担当理事から、当該審査会委員に推薦した山口和範会員と上杉徳子会員の任期が令和6年3月31日で満了することから、新

たにさいたま市から委員2名の推薦依頼があり、山口和範会員については、再任を含め任期が6年となりこれ以上の更新ができないことから新たに後任として各務実理事(副会長)を推薦し、任期1期目の上杉徳子会員については、再任として引き続き推薦していくとの説明があり、両名に特に問題となる点はなく承認された。

(4) 会員入退会について

担当理事から、一般財団法人日本不動産研究所関東支社勤務の佐藤裕人氏から個人会員としての入会申請があったとの説明があり、申請者に特に問題となる点はなく申請どおり入会が承認された。また、内藤秀一会員のご逝去による退会の報告があった。

(5) 来年5月の固定資産評価研修会のテーマについて

担当理事から、来年5月22日に予定している固定資産評価研修会について、新しい研修の方法の提案や新しい講師についてご意見を伺いたいとの説明があった。これに対して、市町村からの意見の吸い上げ、開催時期の変更、総務省からの講師派遣等について意見があり、引き続き検討していくこととなり継続審議となった。



【報告事項】

- (1) インボイス制度に係る連合会の対応について
- (2) 関東地方整備局との災害協定について
- (3) 無料相談会担当者について
- (4) 群馬県共催研修会について
- (5) 一般公開セミナーについて
- (6) 千葉県不動産鑑定士協会主催研修会の共催について
- (7) 研究成果物の進捗状況について
- (8) 埼玉県友好士業協議会「暮らしと事業のよろず相談会」について

- (9) 連合会からの広報に関するアンケートへの対応について
- (10) 固定資産評価関連への今後の対応について
- (11) 固定資産評価契約形態について
- (12) 鑑定評価員選定基準について
- (13) 来年度の予算について
- (14) 固定時点修正地点数の報告について
- (15) 令和5年度川越市総合防災訓練への参観について
- (16) 業務執行状況報告
- (17) 各委員会議事録



11 月理事会（定例）（令和 5 年度第 9 回）

【議事の経過の概要及び結果】

(1) 令和6年度事業計画及び収支予算案について

各委員会の担当理事から、令和 6 年度事業計画・予算について委員会での審議状況、新規項目、令和 5 年度からの変更点等について説明を行ったところ、今後、引き続き各委員会で精査・チェックを行い、2 月開催の理事会において全体を取りまとめることとなり、継続審査となった。

(2) 会員の入会について

担当理事から、野田不動産鑑定株式会社の野田英男氏から業者会員としての入会申請があったとの説明があり、申請者に特に問題となる点はなく申請どおり入会が承認された。

(3) 関東地方整備局との協定書案について



担当理事から、9 月 15 日開催の第 7 回理事会で継続審議となった関東地方整備局との災害発生時の緊急的な不動産鑑定業務の

実施に必要な手続き等を定める協定書締結に関して、これまでの理事会での意見・質疑を踏まえ、10 月 11 日に実施した関東地方整備局と中野会長との打ち合わせでの当協会からの確認事項に対する回答及び当日新たに提示された「災害時における関東地方整備局管内の不動産鑑定業務に関する協定書（案）」修正案に関する関東地方整備局からの説明及び当協会との協議内容について説明があり、修正案のとおり関東地方整備局との協定書の締結について諮ったところ、特に異論もなく承認された。今後、事務局で関東地方整備局に対して協定書の締結が承認されたことを報告し、協定書締結に向けた調整を行うこととなった。

(4) 電子取引データの訂正及び削除の防止に関する事務処理規程案（制定）について

担当理事から、12 月 31 日で電子帳簿保存法の有期措置が終了し、令和 6 年 1 月 1 日からは保存要件に従って電子取引の取引情報に係る電磁的記録の保存等を行う場合には、真実性や可視性を確保するための要件を満たす必要があることから、規則第 8 条第 1 項第 4 号に規定する「正当な理由がない訂正及び削除の防止に関する事務処理の規程」を整備するもので、国税庁が提示した規程例を参考に作成したものであるとの説明があり、特に問題となる点はなく承認された。

(5) 関東甲信会代議員選出について

担当理事から、関東甲信会定款第 7 条第 4 項の規定に基づく令和 6-7 年度代議員選出スケジュールについて、関東甲信会から新代議員の推挙に先立って令和 6 年 2 月から 3 月に実施するとの通知があったことから、当協会の慣例に従って現職代議員である諸貴道明理事、宮ヶ原光正会員、山口邦男理事の後任者として総務財務委員会から諸貴道明理事、山口邦男理事、牧元航也委員を選出し、補欠代議員として岡本香織委員を推挙したいとの説明があり、特に異論なく承認された。

(6) 桶川市都市計画審議会委員の推薦について

担当理事から、当協会で推薦した現職委員である元会員 大友由貴子氏の任期が令和 5 年 12 月 31 日で満了することから、桶川市長から令和 6 年 1 月 1 日から令和 7 年 12 月 31 日を任期とする委員候補者について推薦依頼があったもので、当協会役員・委員等の現職者又は経験者のうち、第 2 分科会に所属し、桶川市又は桶川市周辺に住所を有する者として、馬場 努会員を推薦するとの説明があり、特に異論なく承認された。

(7) 研究成果物の埼玉県士協会 HP での公表について

担当理事から、研究広報委員会で昨年度から実施していた事例の分析研究の研究成果物である「埼玉県の不動産市場をめぐる各種データ集計結果」がまとまり、地価公示鑑定評価員・会員への配布について連合会からの了解を得たので、本研究成果物の取引事例に地価公示において作成した取引事例を使用していることから地価公示鑑定評価員に対しては代表幹事、分科会幹事を通じて配布するとともに、会員に対しては埼玉県士協会 HP の会員専用サイトで公表していきたいとの説明があり、特に問題となる点はなく承認された。

(8) R6 春の一般公開講演会（チラシ作成・配布）について

担当理事から、令和 6 年 3 月 27 日（水）に開催する一般公開セミナーについては、立正大学ラグビー部監督 堀越正己氏を講師に予定しているが、講演料として交通費込みで 35 万円を予定し、チラシについては予算 8 万円で作成していきたいとの説明があり、特に質疑なく承認された。

(9) 専門委員の推薦について（埼玉県用地関連業務検討WG）

担当理事から、業務推進委員会内に埼玉県発注の土地評価等の業務に関する問題を検討するワーキンググループを設置するとともに、常設委員会規程第 4 条の規定に基づき、任期を令和 5 年度から令和 6 年度とする



ワーキンググループの専門委員に、大宮不動産鑑定所 切敷幸志会員、門脇不動産鑑定(株) 門脇誠会員、中武不動産鑑定(株) 松島俊輔会員の3名を委嘱したとの説明があり、特に質疑なく承認された。

(10) 独自事例の取扱いについて

担当理事から、独自事例の賃貸事例については、個人情報保護の観点から課題も多く、実際の閲覧数も多くないことから、閲覧を中止する方向で検討していきたいとの説明があり、今後業務推進委員会で事例閲覧の中止の方向で検討していくことで諮ったところ、特に異論もなく承認された。

(11) 埼玉県社会福祉協議会の支援業務について

埼玉県社協マスコット

シャキたまくん

「シャキたまくん通信」
(フェイスブックページ)も
応援してお〜♪



担当理事から、埼玉では埼玉評価センターが埼玉県社会福祉協議会(以下「社協」という。)のリバースモーゲイジの評価に関して協力しており、当協会では埼玉評価センターから年間12

万円で事務の委託を受けて、社協からの評価案件について案件のエリア内の不動産鑑定士を選考して社協に紹介する事務等を行っており、業務を受注した不動産鑑定業者は、年会費のほか不動産鑑定表に基づく業務は1件受注につき1,000円、不動産鑑定評価書に基づく業務は1件受注につき5,000円を埼玉評価センターに納付しているとの現状説明があった。業務推進委員会としては埼玉評価センターの支援業務を当協会に移行して、当協会から不動産鑑定士名簿を提供して社協から直接不動産鑑定士に依頼する方法にすることで事務局の事務負担や不動産鑑定業者の不要な金銭的負担を軽減できると考えているが、最終的には埼玉評価センター側の問題となってくるので、現在想定している進め方としては埼玉評価センターで社協に了解を取り付けた後、当協会が今後のやり方について社協と協議していくこととなるとの説明があり、今後業務推進委員会で社協の支援業務を埼玉評価センターから当協会に移行させる方向で検討していくことについて諮ったところ、特に異論なく承認された。

【報告事項】

- (1) R5.11.7 共催研修会について
- (2) 2024年4月13日(土)春の無料相談会(浦和・川越)について
- (3) 埼玉県友好士業協議会「暮らしと事業のよろず相談会」について
- (4) 埼玉県との合同研修会について
- (5) 固定資産評価と公的土地評価委員会の役割について
- (6) 来年5月の固定資産研修会のテーマについて
- (7) 地価調査における書類等について
- (8) 各委員会議事録

12月理事会(定例)(令和5年度第10回)

【議事の経過の概要及び結果】

(1) 令和6年度事業計画及び収支予算案について(第2回)

担当理事から、11月理事会に提出した総務財務委員会収支予算案について、電話機リースの賃借料を増額変更したとの説明があったほか、前回理事会で事業計画・予算案とも未提出であった住家被害認定調査支援特別委員会については、今回令和5年度事業計画及び収支予算とほぼ同内容で編成したとの説明があった。各委員会の事業計画・予算案については、次回の2月理事会で最終的な原案を取りまとめるため、引き続き各委員会において精査・チェックを行うこととして継続審議となった。

(2) 令和6年度理事会開催日について

11月理事会で提案のあった12月理事会を取りやめ

1月開催に移行することについて各理事に意見を求めたところ、1月開催に反対意見はなく多くの賛同があったことから、改めて令和6年度からは12月開催を取りやめて1月開催に移行することについて諮った結果、特に異論もなく承認された。

(3) 「一般公開セミナー」について

担当理事から、3月27日に予定している一般公開セミナーのチラシ案、新聞広告案、会場に設置する吊り看板等について説明があった。このうち新聞広告については、前年度に引き続き日本経済新聞社に依頼するほか、広告サイズ等を5段1/2から2段1/2にすることで予算の範囲内で埼玉新聞社を加えて2社に掲載依頼することについて諮ったところ、特に異論もなく承認された。



【報告事項】

- (1) 在会 40 年表彰会員について
- (2) 年会費ほかの比較について
- (3) 関東地方整備局との災害協定について
- (4) 群馬県共催研修会への質問回答及びアンケート結果について
- (5) 2024 年 4 月 13 日（土）春の無料相談会について
- (6) 研修単位達成率向上について
- (7) 賃貸事例の閲覧について
- (8) 埼玉県社会福祉協議会の支援業務について
- (9) 川越市開催相談会への相談員派遣について
- (10) 事例閲覧サポートシステムについて
- (11) 来年度予算について
- (12) 来年 5 月固定資産評価研修会のテーマについて
- (13) 固定資産評価「鑑定評価書」のチェック項目作成について
- (14) 各委員会議事録

Members

1. 入会者

新たに 2 人の方を会員にお迎えしました。よろしくお祈りいたします。



氏名	佐藤 裕人 (さとう ひろと)
業者名	一般財団法人日本不動産研究所関東支社
区分	個人会員
承認日	令和5年(2023年)10月20日付け承認



氏名	野田 英男 (のだ ひでお)
業者名	野田不動産鑑定株式会社
区分	業者会員
承認日	令和5年(2023年)11月17日付け承認

2. 訃報

ご生前のご功績を偲び、心からご冥福をお祈り申し上げます。

氏名	内藤 秀一 (ないとう しゅういち) 様
業者名	内藤不動産鑑定事務所
逝去日	令和5年(2023年)10月9日 (行年73歳)

3. Status

令和 5 年(2023 年)12 月 31 日現在



区分	合計	内訳		備考
会員数	148名	業者 123名	個人 25名	—
男女別	148名	男性 135名	女性 13名	—
鑑定士	144名	業者 119名	個人 25名	—
		男性 133名	女性 11名	—
平均年齢	62.0歳			対象:鑑定士



Event Report

10月

- 10月4日(水) 研究広報委員会
- 10月6日(金) 業務推進委員会
- 10月7日(土) 秋の無料相談会(大宮・熊谷)
- 10月10日(火) 総務財務委員会/公的土地評価委員会
- 10月13日(金) 親和会総会・共催研修会・懇親会/坂戸市無料相談会
- 10月20日(金) 理事会/月例無料相談会

11月

- 11月4日(土) 暮らしと事業のよろず相談会
- 11月5日(日) 川越市総合防災訓練(訓練参観)
- 11月6日(月) 業務推進委員会
- 11月7日(火) 埼玉県・群馬県共催研修会
- 11月8日(水) 総務財務委員会/研究広報委員会
- 11月14日(火) 公的土地評価委員会
- 11月17日(金) 理事会/月例無料相談会

12月

- 12月5日(火) さいたま市無料相談会
- 12月6日(水) 総務財務委員会/研究広報委員会
- 12月7日(木) 業務推進委員会
- 12月12日(火) 公的土地評価委員会
- 12月13日(水) 東松山市無料相談会
- 12月15日(金) 理事会/月例無料相談会



暮らしと事業のよろず相談会



秋の無料相談会・熊谷会場



親和会共催研修会



Information

関東甲信会設立50周年記念講演会（事務局）



関東甲信会では設立50周年を記念して令和6年2月22日(木)に、千葉県不動産鑑定士協会主催で関東甲信会の会員を対象としたZoomウェビナーによるWeb講演会を開催します。講師には経済統計、マクロ経済分析を専門とし、新聞やテレビ等各界で活躍されている永濱利廣氏をお招きしました。

経済分析を専門とし、新聞やテレビ等各界で活躍されている永濱利廣氏をお招きしました。

- (1) 日時 令和6年2月22日(木) 午後1時30時から午後3時10分
- (2) 方法 ZoomウェビナーWeb講演会
- (3) 単位 2単位（調整中）
- (4) 申込 後日ご案内予定
- (5) 内容 テーマ（調整中）
永濱 利廣 氏（株式会社第一生命経済研究所経済調査部首席エコノミスト）
- (6) 主催 関東甲信不動産鑑定士協会連合会
- (7) 主管 公益社団法人千葉県不動産鑑定士協会

電子帳簿保存法有恕措置終了（国税庁）

電子帳簿等保存制度特設サイト

電子帳簿保存法は、税務関係帳簿書類のデータを可視とする法律で、両法に基づく各種制度を利用することで、経理のデジタル化が図れます。
また、取引に関する書類に通常記載される情報（取引情報）を含む電子データをやり取りした場合、当該データに関する保存義務やその保存方法等についても両法により定められていますので、所管税務・法人税課上の保存義務となる方は、特に「電子取引」についてご確認ください。

制度別に調べる

- 電子取引**
メールやインターネットを介してやり取りした取引情報に係るデータの保存義務について
- 電子帳簿・電子書類**
会計ソフト等パソコンを使用して帳簿や取引書類を作成、保存したい方へのご案内
- スキャナ保存**
取引関係書類を画像データとして保存したい方へのご案内

請求書・領収書・契約書・見積書などに関する電子データを送付・受領した場合には、その電子データを一定の要件を満たした形で保存することが必要です。令和5年12月31日までに行う電子取引については、保存すべき電子データをプリントアウトして保存し、税務調査等の際に提示・提出できる有恕措置がありましたが、令和6年からは保存要件に従って電子データを保存しなければなりません。また、電子取引の取引情報に係る電磁的記録の保存等を行う場合には、真実性や可視性を確保するための要件（規則3①三～五、5七、8①）を満たす必要がありますのでご注意ください。

詳しくは、国税庁HP「[電子帳簿等保存制度特設サイト](#)」をご確認ください。

詳しくは、国税庁HP「[電子帳簿等保存制度特設サイト](#)」をご確認ください。

士会だよりArchives（事務局）

過去に発行した士会だよりのバックナンバーを当協会ホームページで会員の皆様に公開しています。

閲覧可能な士会だよりは、公益法人化前の平成16年4月発行第60号から平成26年3月発行第119号、公益法人化後の平成26年6月発行第1号から最新刊の令和5年9月発行第35号です。

No.	主な内容	頁数	発行年月	サイズ(Kb)
25	関東甲信会設立50周年	11	5/9	1435
24	新卸会長からのご挨拶	11	5/6	1463
23	事業計画・収支予算2023	11	5/3	1455
22	会長選挙・役員選任2023	9	4/12	1357
21	抽籤 研修2022開催場所15単位への対応	10	4/9	1469
20	6月3日第9回通常総会を開催	7	4/6	661
20	令和3年6月～令和4年5月活動報告（予定）について	6	4/4	442
20	全関東甲信不動産鑑定士協会の定款の調査結果	14	3/12	165
27	第8回通常総会、研究広報委員会主催研修を開催	9	3/6	561
26	群馬県士協会との共催 研修・授業 読書 認定 調査 簿 研修を開催	6	2/12	424

発行・編集責任者



いつも士会だよりをご愛読いただきありがとうございます。
士会だよりは、令和4年6月30日発行第31号から電子化発行としました。REA-NETにより情報をいち早く提供すると

ともに、環境への負荷の低減、業務効率改善やコスト削減を進めてまいります。

発行責任者 公益社団法人埼玉県不動産鑑定士協会
会長 中野 拓
編集責任者 研究広報委員会、事務局
発行日 令和5年(2023年)12月27日
さいたま市浦和区常盤4-1-1
Phone 048-789-6000/Fax 048-789-6160



事務局宛メール（スキャン/クリック）